

案件概要書

2014 年 2 月 25 日

国際協力機構南アジア部南アジア第一課

1. 案件名（国名・サブスキーム）

国名：ブータン王国

案件名：第 2 次救急車配備計画（The Project for Replacement of Old Ambulances (Phase II)）

2. 事業の背景と必要性**(1) 当該国における保健医療セクターの開発実績（現状）と課題**

ブータンは国全体が山岳地帯であり、未舗装を含む悪路が多いため、同国の医療分野においては患者を医療施設に安全に輸送することは最優先課題となっている。加えて、同国では交通事故、地震、洪水、地滑り、風害など、人為的災害や自然災害が近年増加していることもあり、遠隔地の人口に対しての救急医療体制整備の必要性が増している。また、60 歳以上の高齢者人口の総人口に占める割合は、2012 年の 10%から 2020 年には約 28%（人口 70 万人のうち、20 万人）にまで増加すると予測されており、これに伴い、地方部における高齢者の救急サービスの要望も増加するとみられている。

ブータンでは、全ての医療施設にて緊急・災害対応を強化することは喫緊の課題となっており、老朽化した救急車の更新が求められている。また、近年進んでいる道路整備を背景に、救急車の出動件数及び走行距離が増加傾向にある。救急車は、地域内の保健施設を結ぶだけではなく、国の東端から西部に位置する首都ティンブーの国立病院に 2 日以上かけて患者を移送するなど、長距離の搬送に使われている。同国の調査では、1 台の年間走行距離は 1 万 km から 5 万 km、多い車両で年間 179 回の出動を記録している。また、同国では救急車の老朽化が進んでおり、「第 11 次 5 ヶ年計画」（2013 年～2018 年）に関する事前調査では、同国が有する救急車 111 台のうち、使用年数 10 年以上の救急車 48 台については更新が必要であると判断された。

(2) 当該国における保健医療セクターの開発政策と本事業の位置づけ及び必要性

ブータンの「第 10 次 5 ヶ年計画」においては、保健医療サービスの普及を促進するため、人材の育成・組織の強化、機材の整った病院等インフラの整備とともに、全国的な救急サービス網の整備への取り組みを実施した。「第 11 次 5 ヶ年計画」では「質の高い保健サービスへのより良い且つ平等なアクセスの提供」を目標として掲げ、引き続き同分野を重視している。ブータン保健省は、出動可能な救急車を各県病院において最低 2 台、県病院下の保健所グレード 1 にも各 1 台を確保する方針であり、本事業はこれら計画、方針に基づき救急サービス網の整備を行うものである。

(3) 保健医療セクターに対する我が国の援助方針

我が国では、「社会開発」を対ブータン援助重点分野に掲げ、開発課題「保健医療サービスの向上」への支援を行うこととしている。また、対ブータン JICA 国別分析ペーパーにおいては、険峻な山国という地形的制約から、貧困層が多く居住する地域は保健などの社会サービスの利用に制約が生じていると分析している。本事業はこうした方針・分析に合致する。ブータンにおいては、本事業の先行案件である「救急車整備計画」（2011 年 1 月 E/N 署名、161 百万円）のほか、感染症分野の技術協力によるワクチン及びコールドチェーンのロジスティックス能力強化や機材の供与、無償資金協力による母子保健分野に係る機材整備支援及びボランティア派遣による

協力を行ってきている。

(4) 他の援助機関の対応

WHO が保健省内に事務所を構え、感染症対策全般に係る技術的助言を行っている
他、UNICEF は UNFPA 及び WHO と協働で保健省のリプロダクティブヘルス・ポリシー
の基盤作りの支援を行っている。

3. 事業概要

(1) 事業の目的

ブータンにおいて老朽化した救急車及び搭載医療機材を更新・配備することにより、車両と機材の性能向上を図り、もって保健医療施設へのアクセス改善ならびに救急救命サービスの質の向上に寄与する。

(2) プロジェクトサイト/対象地域名：全国

(3) 事業概要

1) 土木工事、調達機器等の内容

【機材】救急車 20 台及び救急車搭載機材一式(ストレッチャー、蘇生器具、酸素吸入セット等)

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容

ソフトコンポーネントの提供は行わない予定であるが、現地調査を踏まえて検討する。

(4) 事業実施体制

実施機関：保健省

(5) 環境社会配慮・貧困削減・社会開発

1) 環境社会配慮

① カテゴリ分類 C

② カテゴリ分類の根拠：本事業は「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」(2010 年 4 月公布)上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

2) 貧困削減促進：貧困層による保健医療サービスへのアクセス改善が見込まれる。

(6) 他スキーム、他ドナー、他案件等との連携：特になし。

(7) その他特記事項：特になし

4. 過去の類似案件の評価結果と本事業への教訓

(1) 類似案件の評価結果

「エジプト・アラブ共和国救急車両整備計画」の評価等では、仕様を決定する際には対象国の標準仕様に即するのみで可とするのではなく、さらに現場の声である救急隊員等の意見をより丹念に聴取した結果を仕様に反映させることが必要である、との提言を得ている。

(2) 本事業への教訓

上記評価結果を踏まえて、機材の選定プロセスにおいては救急隊員等の現場の意見を取り入れつつ仕様を決定する。

以 上

〔別添資料〕地図

ブータン王国地図

